

CONTENTS

4 進化を続ける学校トイレ

広島県府中市立 府中小学校・府中中学校
大阪府門真市立 五月田小学校

11 目指したのは家庭と同じ快適トイレ。 答えは「全洋式化」でした。

北海道深川市教育委員会 鈴木英利教育長

12 アンケート調査から見える 学校トイレの未来

2009年度 全国自治体・公立小中学校
学校トイレアンケート調査

16 美しいトイレのために、 私たちにできること。

21 トイレを末永く使うために、 私たちにできること。

24 快適なトイレを作るために、 施工前に知っておくこと。

26 全国から集めた 学校トイレの挑戦

埼玉県戸田市立 美女木小学校
東京都練馬区立 光が丘四季の香小学校
東京都世田谷区立 三宿小学校
埼玉県杉戸町立 杉戸中学校
大阪市教育委員会

学校のトイレ研究会研究誌 13号

●編集・発行
学校のトイレ研究会
株式会社 岡村製作所
株式会社 木村徳太郎商店
シーアイ化成 株式会社
住友ベークライト 株式会社
TOTO 株式会社
株式会社 ベスト
ロンシール工業 株式会社

●事務局
〒154-8540 東京都世田谷区桜新町 2-24-2
TOTO 株式会社内
TEL:03-5451-1150 FAX:03-5451-1097

●発行日 平成 22 年 6 月 1 日

●編集委員
株式会社 岡村製作所 中島徳二
株式会社 木村徳太郎商店 遠藤 茂
シーアイ化成 株式会社 奥村昭夫
住友ベークライト 株式会社 越澤真一
TOTO 株式会社 河村 浩
内田達也
小野塚正美

株式会社 ベスト 永吉 馨
ロンシール工業 株式会社 西本真治

●編集協力
有限会社 六本木制作所 二木 孝
植木美和

●アートディレクション/デザイン 平田 毅

●印刷・製本 共同印刷 株式会社

●表紙写真 美女木小学校トイレ (P26 掲載)

無断で本書の全体、または一部の複写・複製・掲載を禁じます。
本書の著作権はすべて「学校のトイレ研究会」に帰属します。

学校はトイレで困っている。
学校はトイレで悩んでいる。

63 校舎の耐震化

54 デジタルテレビ

46 パソコン・電子黒板

41 省エネ型空調機への更新

36 校内LANケーブル

29 高効率照明器具

28 太陽光発電

23 人感センサー照明

19 校庭の芝生化、屋上緑化

17 耐熱ガラス・二重サッシ

13 耐熱材の吹き付け

15 その他

全国公立小中学校
教職員のみなさんに聞きました。
**児童・生徒のために
改善が必要な場所は
どこですか？**

「2009年度 全国自治体・
公立小中学校
学校トイレアンケート調査」より
N=164

1996年学校トイレのより良い環境作りを目指し、トイレ関連企業が結束して「学校のトイレ研究会」を発足しました。以来、快適なトイレ作りに向けたさまざまな取り組み事例を、毎年の研究誌を通してお伝えしてきました。しかし、いまだ多くの学校がトイレの5K(臭い、暗い、汚い、怖い、壊れている)に悩まされているという切実な現状があります(右ページ参照)。耐震化やエコスクール化と合わせたトイレ改修も国庫補助の対象になります。全国の自治体や学校トイレ計画にかかわる方に、ぜひ、優先的な改善をお願い申し上げます。優れた空間設備、清掃メンテナンス体制、そして教育が適切に連動したとき、学校トイレは子どもと地域の新たな財産として生まれ変わります。

学校のトイレ研究会 事務局長 河村浩

学校トイレの未来へ

3つの提言

3

エコロジー

学校施設整備指針において、環境に配慮した施設作りとしてエコスクール化が進められています。節水は、多額の水道料金削減になると同時に、上下水道に関わるエネルギー負荷の軽減につながることでCO²削減にも貢献します。

公立小中学校が最も多く建設された1970～1980年代に設置された大便器は、1回の洗浄水量が13ℓですが、現在最新のパブリック向け大便器では6ℓ/回と半分以下の使用水量です。8～10ℓ/回の大便器を標準採用としている自治体もありますが、6ℓ/回の大便器へ切り替えてもインシヤルコストの差は、ランニングコストの差で通常2～3年で回収されます。一度、トータルコストでの検討も必要ではないでしょうか。北海道深川市では節水タイプの6ℓ便器に切り替え、排水を減らすことで周辺河川への影響を抑えています(P11参照)。子どもたちの将来のためにも、今、明確なエコトイレ化を進めていく必要があります。

2

乾式化

従来の学校では放水して清掃する湿式清掃が主体でしたが、改修を機会にモップを絞って清掃する乾式清掃に切り替わるケースが多くなってきました。

湿式清掃では床、便器が濡れた状態で放置されるケースが多いため、菌の繁殖を促しやすく不衛生であり、それは悪臭の原因ともなります(P13参照)。しかしながら、学校では不慣れな乾式清掃に不安や戸惑いの声も多く聞かれます。そこで今号では子どもたちによる望ましい日常清掃や、大人による適切な嘔吐に対する処理方法について特集しました(P16参照)。当研究会のホームページでは清掃方法を動画でも公開していますので、ぜひお役に立ていただければ幸いです。

また、乾式清掃のトイレへ改修する場合の、汚れにくい建材や堅牢な金物、最新の器具や技術、そして設計や施工のポイントもまとめてみました(P24参照)。美しいトイレを完成させたら、美しく維持することも大切です。

1

洋式化

大多数の子どもたちが洋式トイレを支持する中、老朽化した多くの学校が和式トイレ主体であり、要望と現状は極端にかい離しています(P13参照)。

汚いトイレでアンケートを実施すると、一部に和式支持も残りますが、改修後はほとんどの子どもたちが洋式を使用するというデータもあります。また、トイレ内で汚れがひどい場所の1位が和式便器とその周囲の床であり、和式トイレを1個残してしまうことが、トイレ空間全体の悪臭の元凶となります。そんな中、100%洋式化していく自治体や学校が増えています(P11参照)。これについてはさまざまな議論がありますが、まずは学校も生活の場としてとらえて家庭環境に近づけ、子どもたちをトイレに対する嫌悪感とストレスから解放することが重要なのではないのでしょうか。

また、多くの自治体では学校を災害避難場所として指定しており、高齢者の使用や節水という観点からも早急な洋式化が望まれます。